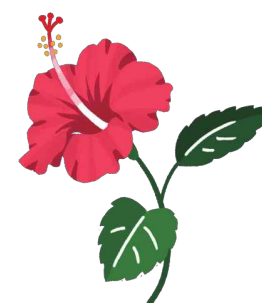


おきなわ 移住 ガイドブック



移住イベントや
移住体験ツアーの
情報も！

沖縄県移住情報サイト

<https://okinawa-iju.jp/>



Facebook



Twitter



沖縄移住の相談窓口

沖縄県企画部地域・離島課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2

TEL.098-866-2370

FAX.098-866-2068

MAIL aa017035@pref.okinawa.lg.jp

はじめませんか？
あなたの沖縄暮らし

- ・沖縄ってこんなところ
- ・おきなわ移住へのステップ
- ・沖縄で住む 働く 子育て 医療・福祉

青い海、青い空、豊かな自然
琉球王国時代から続く独特の文化
そして、人の素朴なあたたかさ…

都会にはない
魅力あふれる沖縄で
あなたらしい沖縄暮らしをしてみませんか



沖縄暮らし＝スローライフと想像される方も多いと思いますが、理想を描きすぎないようにしましょう。

移住するにあたって大事なことは計画性であり、沖縄の長所・短所などを理解した上で移住することをお勧めしています。

地域には、それぞれの伝統行事や共同作業といった慣習等が意外と多くあり、地域に溶け込み地域住民とコミュニケーションをうまく図っていくことが大切になってきます。実際に移住してから、後悔しないためにも、その地域へ行き、人や文化、生活習慣等の違いに直接触れて自分に合っているかどうかを確かめてみましょう。

沖縄ってこんなところ

気候 沖縄は1年を通じて温かく、年間の平均気温は22.7度で、最高気温が30度を越える日が年平均で80日以上あります。真冬でも気温が10度以下になることはめったにありませんが、風が強いため体感温度は寒く感じます。また、1年を通じて湿度が高く降水量の多い地域でもあります。台風を通り道にあたることから、6～10月の間、年平均7～8個の台風が近づき、長時間にわたって風雨が吹き荒れることもあります。

人柄 明るい性格で楽天的、ゆったりした性格の方が多いといわれています。また、共通の先祖をもつ父系の血縁集団を「門中」といい、一族間の結びつき、連帯意識はとても強いものがあります。



沖縄に伝わる料理は「琉球料理」と呼ばれ、豚肉が多く使われています。これは今から約600年前に中国との交易によってもたらされ、その後広まったものといわれています。また、沖縄は「豆腐の島」とよばれるほど、食生活には欠かすことのできない食べ物です。本土の豆腐より数倍大きく、チャンプルー(いため物)やあげ物など、いろいろな料理で使われる人気です。その他にもゴーヤー(にがうり)やナーベラー(へちま)など、個性的な食材が豊富にあります。

沖縄の言葉を「しまくとぅば」と言います。日本語から枝分かれて独自の発展を遂げたといわれています。古い時代の日本語をもとにしているものが多く、たとえば「いらっしやいませ」の意味の「メンソーレ」は、「参(まえ)り候(そうら)え」が変化した言葉だといわれています。標準語と「しまくとぅば」は全く違う言葉のように聞こえますが、よく比べてみるともともと同じ言葉だったことがわかります。

交通 沖縄は乗用車・タクシー・バス・レンタカーなどが活躍しているため、「クルマ社会」とも言われています。また、周囲を海に囲まれているため、離島へ人や物資を運ぶための船やフェリーも欠かせない交通手段となっています。そして、島々を結ぶ飛行機も今では県民の足として定着しています。那覇空港から首里までを結ぶモノレール(ゆいレール)は、2019年10月、浦添市(てだこ浦西駅)まで延伸。



歴史 昔、沖縄は琉球と呼ばれた一つの国でした。琉球王国は首里城を中心として、アジア諸国との外交・貿易により黄金時代を迎えます。その後1609年に薩摩藩による侵攻があり、日本文化の影響を色濃く受け特色ある文化へと発展していきました。明治時代になると450年続いた琉球王国はなくなり、沖縄県として新たなスタートを切りました。1945年太平洋戦争で激しい地上戦の舞台となり多くの犠牲者を出した沖縄は、終戦後アメリカの直接統治を受け、日本へ復帰したのは終戦から27年経った1972年のことでした。現在も沖縄には広大な米軍専用施設が存在し様々な問題が生じています。

沖縄暮らし Q&A

沖縄への移住に興味はあるけれど実際に始めるにはわからないことがたくさんあると思います。先輩移住者から寄せられた質問をもとに沖縄暮らしを考えるにあたっての疑問や不安にお答えします。

Q まず、どんなことから準備をしたらいいですか？

A 自分がどんな生活をしたいか書き出してみてください。希望のライフスタイルに合わせて移住地域や移住の優先順位が決められると思います。

Q 働く場はありますか？

A 全国と比べて雇用情勢は厳しい状況ですが、働く場はあります。企業に就職する場合や新規で農業をはじめめる場合、観光地が多い島などではリゾートバイトなど様々な働き方があります。

Q 地域の行事が多いと聞きますが、どんなことがありますか？

A 都会と違い沖縄では人とのつながりが強く、助け合いの精神で暮らしています。共同で行う地域の行事や集落の草刈り作業など、地域や島によって異なるので事前に確認しましょう。

Q 車の免許がなくても大丈夫ですか？

A 「クルマ社会」と言われている沖縄。那覇市など交通機関が整備されている地域では、車がなくても生活は出来ますが、やはり車は必需品です。車がないと不便なことも多いので、運転免許証は取得しておいた方が良いでしょう。

おきなわ移住へのステップ

沖縄暮らしを実現するまでには、いくつかのステップを踏む必要があります。そのプロセスは人それぞれですが、ここでは、基本となるステップをご紹介します。ご自身がいまどの位置にいるのかも確認してみましょう。

START!!



① なぜ沖縄暮らしをするのか?

「都会生活に疲れたから沖縄でのんびり暮らしたい」という理由だけではダメ。移住する目的や場所、生活スタイルなどをはっきりさせることで理想の暮らしに近づけます。

ポイント
「沖縄のことは良くわからないけれど、行けばなんとかなる」は禁物です。

② 家族やパートナーの合意

単身移住ではない限り、家族やパートナーの考えも尊重しましょう。家族の反対を押し切った移住や、夫が夢中・妻は無関心で夫婦の意見に食い違いがというパターンも。

ポイント
じっくり話し合える場を持ちましょう。

③ 条件を書き出してみよう

沖縄暮らしの条件は人それぞれ違います。ダイビングが趣味の人であれば海の近くが好都合ですし、高齢者であれば総合病院が近いと安心でしょう。自分の条件を書き出してみましょう。

ポイント
譲れない条件を3つあげてみましょう。

④ 情報収集をしましょう

住みたい地域を絞り込めたら、その地域の生活環境や気候をはじめ、生活するにあたって必要な子育て支援や医療施設などの情報を集めましょう。

ポイント
インターネットでの情報収集はもちろん、各市町村へ問い合わせするのも一つの方法。

⑤ まずは、現地でお試し生活

いきなり移り住むのは不安なものです。旅行気分ですhootステイをしたり、各地で行っている体験ツアーなどに参加することにより、地域の方と交流をしましょう。

ポイント
現地の生活を経験することが成功への道です。

⑥ 住居をさがしましょう

いきなりマイホームを購入するのもいいですが、とりあえず賃貸で暮らすことをおすすめします。物件を見学する際は、水回りを中心にしっかりチェックしましょう。

ポイント
スーパーや学校など、周辺の情報も一緒に確認しましょう。

⑦ 仕事をみつけましょう

沖縄暮らしを支えるための収入は足りていますか。ハローワークなどで就職先を見つけたり、新規就農するという方法もあります。

ポイント
移住してから仕事をみつける場合、十分な生活費(半年~1年分)を準備しておきましょう。

⑧ 移住するまえに準備しておこう

引越し費用などは、予想以上にかかります。地域性を考えたうえで計画的にマネープランをたてましょう。また、沖縄は車社会です。生活をしていく上で、運転免許がないと不便なことも多いのでご注意ください。

ポイント
いざという時のために貯蓄が必要になるでしょう。

⑨ さあ移住! 挨拶まわりを

無事に引越しが済んだら、近所へご挨拶をするともにその地区の区長(自治会長と呼ぶ場合も)を紹介してもらいましょう。行事や地域の仕事など都会とは違った参加行事を教えてください。

ポイント
その地域にあった近所付き合いをしましょう。